

## 2) 衛生グループ

衛生グループでは、和歌山県食品衛生監視指導計画に基づき、県内で製造又は販売されている食品等について、残留農薬、動物用医薬品、食品添加物、放射性物質等の検査および調査研究を実施している。また、その他に、家庭用品検査、医薬品等の検査、飲料水の検査等を行っている。

### (1) 行政検査

令和3年度に行った食品、医薬品等の行政検査は624検体（延検査項目数37,652）で、その内容は表2-1のとおりであった。

表2-1. 行政検査

区 分	内 容	検体数	延検査数
食品・生活衛生課	食品等		
	食品添加物検査（過酸化水素、ソルビン酸等）	190	1,450
	残留農薬検査（農産物中の有機リン系農薬等）	120	32,440
	残留動物用医薬品検査（畜水産物中の合成抗菌剤）	110	3,206
	鯨類等のメチル水銀調査	10	10
	おもちゃ検査（乳幼児用おもちゃの鉛、カドミウム）	11	22
	放射性物質検査	138	276
	衛生関係苦情処理	0	0
	外部精度管理（GLPに関する業務）	3	8
	家庭用品等		
家庭用品検査（乳幼児用衣類中のホルムアルデヒド）	16	16	
水質関係			
	飲用水試験（井戸水の水質検査）	24	216
薬 務 課	医薬品等検査（定量試験等）	2	8
	計	624	37,652

#### a) 食品関係

##### (a) 食品添加物検査（表2-2）

##### i) 殺菌料（過酸化水素）

釜揚げしらす6検体について過酸化水素の定量試験を行った。

その結果、6検体から過酸化水素(0.1~0.8 mg/kg)を検出したが、いずれも天然由来のものと判断した。

また、釜揚げしらす34検体について、当センターで作成・配付した過酸化水素試験キットを用いて食品衛生監視員が簡易試験を実施した結果、いずれの検体からも過酸化水素は検出されなかった。

##### ii) 保存料（ソルビン酸、安息香酸、デヒドロ酢酸、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸イソプロピル、パラオキシ安息香酸ブチル、パラオキシ安息香酸イソブチル、パラオキシ安息香酸メチル）

食肉製品、魚肉ハム・ソーセージ、みそ、しょうゆ、清涼飲料水、漬物、菓子、合計60検体について、延べ460項目の定量試験を行った。

その結果、食肉製品3検体、漬物5検体、菓子1検体からソルビン酸(0.25~1.1 g/kg)を、しょう油2検体からパラオキシ安息香酸ブチル(0.03, 0.05 g/kg)を検出したが、いずれも使用基準値以下

表 2-2. 食品添加物検査

項目名	品名	検体数	検出数	検出値		
殺菌科	過酸化水素 (g/kg)	釜揚げしらす	6	6	0.0001~0.0008	
	過酸化水素 (簡易試験)	釜揚げしらす	34	0		
保存料	ソルビン酸 (g/kg)	食肉製品	7	3	0.78~1.1	
		魚肉ハム・ソーセージ	3	0		
		みそ	5	0		
		しょうゆ	5	0		
		清涼飲料水	5	0		
	安息香酸 (g/kg)	漬物	20	5	0.25~0.54	
		菓子	15	1		
		みそ	5	0		0.35
		しょうゆ	5	0		
		清涼飲料水	5	0		
漬物	20	1				
菓子	15	0				
デヒドロ酢酸 (g/kg)	みそ	5	0			
	しょうゆ	5	0			
	清涼飲料水	5	0			
	漬物	20	0			
	菓子	15	0			
パラオキシ安息香酸エステル類 (g/kg)	みそ	5	0	0.03, 0.05		
	しょうゆ	5	2			
	清涼飲料水	5	0			
	漬物	20	0			
	菓子	15	0			
パラオキシ安息香酸メチル (g/kg)	みそ	5	0			
	しょうゆ	5	0			
	清涼飲料水	5	0			
	漬物	20	0			
	菓子	15	0			
発色剤	亜硝酸根 (g/kg)	食肉製品	7	7	0.003~0.027	
		魚肉ハム・ソーセージ	3	0		
甘味料	サクカリンナトリウム (g/kg)	みそ・しょうゆ	10	0	0.06	
		清涼飲料水	5	0		
		菓子	5	0		
		アセスルファムカリウム (g/kg)	みそ・しょうゆ	10		0
	アスパルテーム (g/kg)	清涼飲料水	5	1		
		菓子	5	0		
		みそ・しょうゆ	10	0		
		清涼飲料水	5	0		
ズルチン (g/kg)	菓子	5	0			
	みそ・しょうゆ	10	0			
	清涼飲料水	5	0			
	菓子	5	0			
防かび剤	イマザリル (g/kg)	レモン	5	3	0.0007~0.0028	
		グレープフルーツ	5	5		
		オレンジ類	5	5		
		バナナ	5	0		
	チアベンダゾール (g/kg)	レモン	5	0	0.001, 0.001	
		グレープフルーツ	5	2		
		オレンジ類	5	1		
		バナナ	5	0		
	オルトフェニルフェノール (g/kg)	レモン	5	0		
		グレープフルーツ	5	0		
オレンジ類		5	0			
バナナ		5	0			
ジフェニル (g/kg)	レモン	5	0			
	グレープフルーツ	5	0			
	オレンジ類	5	0			
	バナナ	5	0			
フルジオキシソニル (g/kg)	レモン	5	0			
	グレープフルーツ	5	0			
	オレンジ類	5	0			
	バナナ	5	0			
アゾキシストロピン (g/kg)	レモン	5	0			
	グレープフルーツ	5	0			
	オレンジ類	5	0			
	バナナ	5	0			
ピリメタニル (g/kg)	レモン	5	0			
	グレープフルーツ	5	0			
	オレンジ類	5	0			
	バナナ	5	0			
酸化防止剤	BHA, BHT, PG, OG, DG, TBHQ, NDGA, HMBP (各g/kg)	魚介乾製品	10	0		
		油脂・バター	10	0		
着色料	食用赤色2号, 食用赤色3号, 食用赤色40号, 食用赤色102号, 食用赤色104号, 食用赤色105号, 食用赤色106号, 食用黄色4号, 食用黄色5号, 食用緑色3号, 食用青色1号, 食用青色2号, アシットレット1, アシットレット13, アシットレット26, アソルビン, アシットレット87, ホンソー6R, ホンソーSX, キンレンファストイエロー2G, オレンジG, α-ナフトールオレンジ, ナフトールイエローS, アシットグリーン9, アシットブルー1, アシットブルー3ナトリウム, アシットブラック1, ブラックPN	漬物	10	1	黄色4号 黄色4号	
		菓子	10	1		

であった。

また、漬物（梅干し）1検体から検出した安息香酸（0.01 g/kg）は天然由来のものと判断した。なお、他の保存料についてはすべて定量下限値未満であった。

### iii) 発色剤（亜硝酸根）

食肉製品7検体，魚肉ハム・ソーセージ3検体について，亜硝酸根の定量試験を行った。

その結果，全ての食肉製品から亜硝酸根（0.003～0.027 g/kg）を検出したが，いずれも使用基準値以下であり，魚肉ハム・ソーセージはすべて定量下限値未満であった。

### iv) 甘味料（サッカリンナトリウム，アセスルファムカリウム，アスパルテーム，ズルチン）

みそ5検体，しょうゆ5検体，清涼飲料水5検体および菓子5検体，合計20検体について，延べ80項目の定量試験を行った。

その結果，清涼飲料水1検体からアセスルファムカリウム（0.06 g/kg）を検出したが，使用基準値以下であり，その他はすべて定量下限値未満であった。

### v) 防かび剤（イマザリル，チアベンダゾール，オルトフェニルフェノール，ジフェニル，フルジオキシニル，アゾキシストロビン，ピリメタニル）

レモン5検体，グレープフルーツ5検体，オレンジ類5検体およびバナナ5検体，合計20検体について，延べ140項目の定量試験を行った。

その結果，レモン3検体，グレープフルーツ5検体，オレンジ類5検体からイマザリル（0.0007～0.0028 g/kg）を，グレープフルーツ2検体，オレンジ類1検体からチアベンダゾール（0.001～0.003 g/kg）を検出したが，いずれも使用基準値以下であり，他はすべて定量下限値未満であった。

### vi) 酸化防止剤（ブチルヒドロキシアニソール（BHA），ジブチルヒドロキシトルエン（BHT），没食子酸プロピル（PG），没食子酸オクチル（OG），没食子酸ラウリル（DG），*tert*-ブチルヒドロキノン（TBHQ），ノルジヒドログアヤレチック酸（NDGA），4-ヒドロキシメチル-2,6-ジ-*tert*-ブチルフェノール（HMBP））

魚介乾製品，油脂・バター各10検体，合計20検体について，延べ160項目の定量試験を行った。その結果，すべて定量下限値未満であった。

### vii) 着色料（食用赤色2号，同3号，同40号，同102号，同104号，同105号，同106号，食用黄色4号，同5号，食用緑色3号，食用青色1号，同2号，アシッドレッド1，アシッドレッド13，アシッドレッド26，アズルビン，アシッドレッド87，ポンソー6R，ポンソーSX，キシレンファストイエロー2G，オレンジG， $\alpha$ -ナフトールオレンジ，ナフトールイエローS，アシッドグリーン9，アシッドブルー1，アシッドブルー3ナトリウム，アシッドブラック1，ブラックPN）

漬物，菓子各10検体，合計20検体について，延べ560項目の定性試験を行った。その結果，漬物1検体，菓子1検体から食用黄色4号を検出したが，使用基準に適合していた。その他の検体からはいずれの着色料も検出されなかった。

## (b) 残留農薬検査

農産物 120 検体（表 2-3）について、310 項目の農薬成分（表 2-4）延べ 32,440 項目の試験を行った。

その結果、25 成分（表 2-5）延べ 63 項目の農薬を検出したが、いずれも残留基準値未満であった。なお、他の農薬についてはすべて定量下限値未満であった。

表 2-3. 残留農薬検査の農産物と検体数

農産物名	検体数	県内産	県外産	輸入品
ウメ（青梅）	12	12	0	0
ピーマン	8	6	2	0
モモ	10	10	0	0
ナス	10	10	0	0
レモン	5	0	0	5
グレープフルーツ	5	0	0	5
オレンジ類	5	0	0	5
バナナ	5	0	0	5
カキ	10	10	0	0
サツマイモ	10	9	1	0
ブロッコリー	10	5	5	0
ミカン	10	10	0	0
キウイ	10	4	1	5
ハクサイ	10	9	1	0
計	120	85	10	25

表 2 - 4. 残留農薬検査項目

農薬名	農薬名	農薬名	農薬名
1 1,1-ジクロロ-2,2-ビス(4-エチルフェニル)エタン 1)2)3)4)5)	80 クロルタールジメチル	159 トリチコナゾール	238 フルトリアホール 1)2)3)5)6)
2 2-(1-ナフチル)アセタミド	81 クロルピリホス	160 トリブホス	239 フルバリネート 3)4)
3 BHC 3)4)	82 クロルピリホスメチル	161 トリフルムロン	240 フルフェノクスロン
4 DDT 1)4)5)	83 クロルフェナピル 1)2)3)5)6)	162 トリフルラリン	241 フルフェンビルエチル 3)4)5)6)
5 EPN	84 クロルフェンソロン	163 トリフロキシストロピン	242 フルミオキサジン 6)
6 EPTC 1)2)4)5)6)	85 クロルフェンペンホス	164 トリフロキシシルフロソ	243 フルミクロラックベンチル 3)4)6)
7 TCMTB	86 クロルブファム	165 トルクロホスメチル	244 フルメツラム 3)4)
8 XMC	87 クロルブプロファム	166 トルフェンピラド	245 フルリド 1)2)3)4)5)
9 γ-BHC 6)	88 クロルベンシド 1)4)	167 ナプロアニリド	246 プレチラクロール
10 アザコナゾール 1)3)4)5)6)	89 クロロクスロン	168 ナプロバミド	247 プロシミド
11 アザメチホス	90 クロロネブ 1)2)3)5)6)	169 ニトロタールイソプロピル	248 プロチオホス 1)2)3)4)
12 アジメシルフロソ	91 クロルベンジレート	170 ノバルロン	249 プロバキザホップ
13 アジンホスメチル	92 シアノホス 1)3)4)6)	171 パクプロトラゾール	250 プロバジン
14 アセタミプリド	93 ジウロン	172 パラチオン	251 プロバニル
15 アセフェート	94 ジエトフェンカルブ	173 パラチオンメチル	252 プロバホス 1)3)4)5)6)
16 アゾキシストロピン 1)2)4)5)6)	95 ジオキサチオン 3)	174 ハルフェンブロックス 1)2)3)4)5)	253 プロバルギット 3)4)5)6)
17 アトラジン	96 シクロエート 1)2)3)4)5)	175 ハロキシホップ 1)2)3)4)6)	254 プロピコナゾール 1)4)5)6)
18 アニロホス	97 ジクロスラム 1)2)3)4)6)	176 ハロスルフロソメチル	255 プロピザミド
19 アメトリン 2)3)4)5)6)	98 シクロスルファミロン	177 ピコリナフェン	256 プロフェノホス
20 アラクロール	99 ジクロトホス	178 ビテルタノール	257 プロボキスル
21 アレスリン 1)2)3)5)6)	100 ジクロフェンチオン 1)2)3)4)5)	179 ビフェノックス 1)2)3)4)6)	258 プロマシル
22 イオドスルフロソメチル 1)2)3)4)6)	101 ジクロホップメチル 3)5)6)	180 ビフェントリン 1)3)4)	259 プロメトリン
23 イサゾホス 3)4)6)	102 ジクロラン 1)2)3)5)6)	181 ビベロニルブトキシド 1)3)4)5)6)	260 プロモプロビレート
24 イソキサチオン	103 ニニドエチル 2)3)4)5)6)	182 ビベロホス	261 プロモホス
25 イソフェンホス	104 シノスルフロソ	183 ピラクロストロピン	262 プロモホスエチル 2)3)
26 イソプロカルブ	105 シハロトリン 3)4)	184 ピラクロホス	263 フロラスラム 1)2)3)4)6)
27 イソプロチオラン 1)2)3)4)6)	106 シハロホップブチル	185 ピラズルフロソエチル	264 ヘキサコナゾール
28 イソバリカルブ	107 ジフェナミド	186 ピラゾホス	265 ヘキサジン
29 イソベンホス	108 ジフェノコナゾール 1)3)4)6)	187 ピラゾリネート	266 ヘキサフルムロン
30 イマザキン 1)2)	109 シフルトリン 3)4)	188 ピラフルフェンエチル 1)3)4)5)6)	267 ヘキサチアゾクス
31 イマザメタベンズメチルエステル	110 シフルフェナミド	189 ピリダフェンチオン	268 ベナラキシル
32 イマザリル 1)2)4)5)6)	111 ジフルフェニカ 1)3)4)5)6)	190 ピリダベン 1)2)3)4)6)	269 ベキサコール
33 イミダクロプリド	112 ジフルベンズロン	191 ピリフェノックス 1)3)5)6)	270 ベキサスラム
34 インダノファン 1)2)3)4)5)	113 シプロコナゾール	192 ピリフタリド	271 ベルメトリン 1)3)4)
35 インドキサカルブ 1)2)3)4)5)	114 シプロジニル	193 ピリプチカルブ 1)3)4)5)6)	272 ベンコナゾール 1)3)4)5)6)
36 エスプロカルブ	115 シベルメトリン 3)4)6)	194 ピリプロキシフェン	273 ベンシクロン
37 エタメツルフロソメチル 1)2)3)4)5)	116 シマジン	195 ピリミカブ 1)2)3)5)6)	274 ベンシルフロソメチル
38 エタルフルラリン	117 シメコナゾール	196 ピリジフェン 1)2)3)4)6)	275 ベンゾフェナツブ
39 エチオフェンカルブ	118 ジメタメトリン	197 ピリミナバクメチル	276 ベンダイオカルブ
40 エチオン	119 ジメチリモール 1)2)3)5)6)	198 ピリミホスメチル	277 ベンディメタリン
41 エディフェンホス	120 ジメチルペンホス	199 ピリメタニル 4)5)6)	278 ベンフルラリン
42 エトキサゾール 2)3)4)5)6)	121 ジメチナミド	200 ピンクロゾリン	279 ベンフレセート
43 エトキシシルフロソ 1)2)3)4)6)	122 ジメトルフ	201 フィプロニル 1)2)3)5)	280 ホサロン 2)3)4)5)6)
44 エトフェンブロックス 1)2)3)4)5)	123 ジメビレレート	202 フェナミホス	281 ボスカリド
45 エトプロホス	124 スピロジクロフェン 1)2)3)4)	203 フェナリモル 1)2)3)5)6)	282 ホスチアゼート
46 エボキシコナゾール	125 スルフェントラジン 1)2)3)4)6)	204 フェニトチオン 2)3)4)5)6)	283 ホスメット 3)4)
47 エンドスルフロソサルフェート 4)	126 スルホスルフロソ	205 フェキサニル	284 ホラムスルフロソ
48 オキサジゾン	127 ダイアジン 1)3)4)5)	206 フェメキシカルブ	285 ホルクフルフェニル
49 オキサジクロメホソ	128 ダイアレート	207 フェノチカルブ	286 ホレート 1)3)4)5)6)
50 オキサニル	129 ダイムロン 1)2)3)4)5)	208 フェメトリン 3)4)5)	287 マラチオン
51 オキシカルボキシ	130 チアクロプリド 1)3)4)5)	209 フェノカルブ	288 ミクロブタニル
52 オキシフルアルフェン	131 チアベンダゾール 1)2)5)6)	210 フェンアミド 1)2)3)4)6)	289 マルバム 3)4)5)6)
53 カズサホス	132 チアメキサム	211 フェンクフルホス	290 メノシルフロソメチル 1)2)3)4)6)
54 カフェンストール 3)4)5)6)	133 チオジカルブ及びメソミル 1)2)3)4)	212 フェンシルホチオン	291 メタベンズチアズロン 1)2)3)4)5)
55 カルバリル 1)2)3)4)6)	134 チオベンカルブ	213 フェントエート	292 メタミドホス 1)2)3)4)5)
56 カルフェントラジンエチル 1)3)4)5)6)	135 チオメト 1)3)4)6)	214 フェンバレレート 4)	293 メチオカルブ 2)
57 カルプロバミド	136 チジアズロン	215 フェンピロキシメート 3)4)5)6)	294 メチダチオン 4)5)6)
58 カルボフラン 1)2)3)4)6)	137 チフェンシルフロソメチル	216 フェンコナゾール	295 メトシクロー
59 キナルホス	138 チフルザミド 1)2)3)4)6)	217 フェンプロバトリン 1)2)3)4)5)	296 メトキシフェンジド 1)3)4)
60 キノキシフェン	139 テクナゼン	218 フェンプロピモルフ	297 メトスラム 1)2)3)4)
61 キノクラミン 1)2)3)4)6)	140 テトラクロルペンホス	219 フェンヘキサミド 1)2)3)4)5)	298 メスルフロソメチル 1)2)3)4)5)
62 キノメチオナート 3)	141 テトラコナゾール	220 フェンメチファム	299 メトミストロピン
63 キントゼン 1)2)3)4)5)	142 テトラジホソ 1)2)3)4)6)	221 フサライド	300 メトラクロー
64 クミルロン	143 テニルクロー	222 プタクロー	301 メフェナセート
65 クレソキシムメチル	144 テブコナゾール 1)2)3)4)6)	223 プタフェナシル	302 メフェンビルジエチル
66 クロキントセットメキシ	145 テブチウロン	224 プタミホス	303 メプロニル
67 クロジナホップ酸 1)2)3)6)	146 テブフェンジド 1)2)3)4)5)	225 プチレート	304 モノクトロホス
68 クロゾリネート 3)4)	147 テブフェンピラド	226 プビメート	305 モリニユロン
69 クロチアニジン	148 テフルトリン 3)4)	227 ププロフェン 1)3)4)	306 ラクトフェン
70 クロフェンセット 3)	149 テフルベンズロン	228 フラザシルフロソ 1)2)3)4)6)	307 リニユロン
71 クロフェンテジン 1)2)3)4)	150 テルプロトリン	229 フラムプロップメチル	308 ルフェスロン
72 クロマゾン	151 テルプロホス	230 フラメトビル	309 レスメトリン 3)4)
73 クロマフェンジド	152 トラルコキシジム	231 フルアクリピリム	310 レナシル
74 クロメプロップ	153 トリアジメノール	232 フルアジホップ 1)2)4)	
75 クロラソスラムメチル	154 トリアジメホソ	233 フルキシコナゾール 3)4)	
76 クロリダジン	155 トリアスルフロソ	234 フルシトリネート	
77 クロリムロンエチル	156 トリアゾホス	235 フルシラゾール	
78 クロリエトキシホス	157 トリアレート	236 フルチアセットメチル 4)	
79 クロルシルフロソ 1)2)3)4)6)	158 トリシラゾール	237 フルトラニル	

1)ウメ、ピーマンのみ  
4)カキ、サツマイモのみ

2)モモ、ナスのみ  
5)ブロッコリー、ミカンのみ

3)レモン、グレープフルーツ、オレンジ類、バナナのみ  
6)キウイ、ハクサイのみ

表2-5. 農産物検出結果

検出農薬	作物名	検体数	検出数	検出値(ppm)
アセタミプリド	ウメ(青梅)	12	1	0.01
	ピーマン	8	1	0.22
	モモ	10	1	0.03
アゾキシストロビン	モモ	10	1	0.02
	ナス	10	1	0.11
イミダクロプリド	ピーマン	8	1	0.01
クレソキシムメチル	ウメ(青梅)	12	3	0.01~0.38
クロチアニジン	ウメ(青梅)	12	1	0.01
	モモ	10	4	0.01~0.07
	カキ	10	3	0.02~0.04
クロルピリホス	バナナ	5	2	0.01, 0.03
クロルフェナピル	ピーマン	8	2	0.06, 0.08
	ナス	10	1	0.03
ジフェノコナゾール	ウメ(青梅)	12	9	0.01~0.25
	カキ	10	2	0.01, 0.04
シペルメトリン	カキ	10	2	0.03, 0.13
テブコナゾール	ウメ(青梅)	12	1	0.03
	モモ	10	1	0.01
	カキ	10	1	0.01
トルフェンピラド	ピーマン	8	1	0.56
ビフェントリン	バナナ	5	2	0.01, 0.01
ピラクロストロビン	グレープフルーツ	5	4	0.01~0.03
ピリプロキシフェン	レモン	5	1	0.02
フェンプロパトリン	ウメ(青梅)	12	2	0.01, 0.03
フェンプロピモルフ	バナナ	5	1	1.1
ブプロフェジン	ウメ(青梅)	12	1	0.10
フルフェノクスロン	ピーマン	8	1	0.08
プロシミドン	ピーマン	8	2	0.02, 0.08
プロフェノホス	レモン	5	1	0.01
ヘキシチアゾクス	ウメ(青梅)	12	1	0.09
	ピーマン	8	1	0.03
	バナナ	5	1	0.14
メソミル	ブロッコリー	10	1	0.04
	ウメ(青梅)	12	1	0.02
メトキシフェノジド	グレープフルーツ	5	3	0.01~0.05
ルフェヌロン	ピーマン	8	1	0.02

(c) 残留動物用医薬品検査(エトパペート, エリスロマイシン, オキシリニック酸, オルビフロキサシン, オルメトプリム, キシラジン, スルファキノキサリン, スルファクロルピリダジン, スルファジアジン, スルファジミジン, スルファジメトキシリン, スルファセタミド, スルファチアゾール, スルファドキシリン, スルファピリジン, スルファベンズアミド, スルファメトキサゾール, スルファメトキシピリダジン, スルファメラジン, スルファモノメトキシリン, スルフィソゾール, チアムリン, チルミコシン, トリメトプリム, ナリジクス酸, ピリメタミン, プラジクアンテル, フェノブカルブ, フルメキン, ミロサマイシン, レバミゾール)

県内産畜水産物 52 検体，県外産畜水産物 46 検体，輸入畜水産物 12 検体，合計 110 検体（表 2-6）について，モニタリング検査として延べ 3,206 項目の定量試験を行った。

その結果，流通食品はいずれの項目も定量下限値未満であった。

表 2-6. 動物用医薬品検査

畜水産物名	検体数	県内産	県外産	輸入品
養殖魚介類 〔マダイ，アユ，ブリ，銀鮭 ハマチ，ナマズ，シマアジ，エビ アマゴ，カンパチなど〕	45	28	11	6
牛肉	15	2	10	3
豚肉	5	1	2	2
鶏肉	25	7	17	1
鶏卵	20	14	6	0
計	110	52	46	12

(d) 有害物質検査

鯨類および大型魚介類 10 検体について，メチル水銀の定量試験を行った（表 2-7）。

その結果，6 検体からメチル水銀（0.09～4.0 mg/kg）を検出した。

表 2-7. 有害物質検査

項目名	品名	検体数	検出数	検出値
メチル水銀	鯨類(イルカ 腹肉)	2	2	0.67, 1.1 mg/kg
	鯨類(ミンククジラ 赤肉)	1	0	
	鯨類(ミンククジラ ホネハギ)	1	1	0.09 mg/kg
	鯨類(ニタリクジラ)	1	0	
	鯨類(マゴンドウ)	1	1	4.0 mg/kg
	鯨類(ハナゴンドウ)	1	1	1.7 mg/kg
	鯨類(ベーコン)	1	0	
	大型魚介類(マグロ類)	2	1	0.14 mg/kg
	計	10	6	

(e) おもちゃ検査

乳幼児用おもちゃ 10 検体（11 部位）のうち，ポリ塩化ビニルを主体とする材料を用いて製造された部分 6 検体（6 部位）について重金属（鉛の量として）およびカドミウムの溶出試験を，塗膜 4 検体（5 部位）について鉛およびカドミウムの溶出試験を行った（表 2-8）。

その結果，すべて規格基準に適合していた。

表2-8. おもちゃ検査

項目名	品名	検体数	検体部位	試験部位	結果
重金属(鉛の量として) カドミウム	玩具	6	6	ポリ塩化ビニル	適合
鉛 カドミウム	木製玩具	1	1	塗膜	適合
	玩具	3	4		適合
	計	10	11		

## (f) 食品中の放射性物質検査

和歌山県内産食品 138 検体について、放射性セシウム(Cs134+Cs137)の検査を行った(表2-9)。その結果、すべて検出限界値未満であった。

表2-9. 放射性セシウム(Cs134+Cs137)検査

分類	食品名	検体数	結果
魚介類	アユ	4	N. D.
	マダイ	20	N. D.
	コロダイ	1	N. D.
	マグロ	7	N. D.
	カツオ	3	N. D.
	イサギ	2	N. D.
	シマアジ	2	N. D.
	ナマズ	2	N. D.
	アマゴ	1	N. D.
	ハマチ	1	N. D.
	生食用カキ	1	N. D.
農産物	ウメ	12	N. D.
	ピーマン	6	N. D.
	モモ	10	N. D.
	ナス	10	N. D.
	カキ	10	N. D.
	サツマイモ	9	N. D.
	ブロッコリー	5	N. D.
	ミカン	10	N. D.
	キウイ	4	N. D.
	ハクサイ	9	N. D.
	畜産物	牛肉	2
鯨類		7	N. D.
	計	138	

N. D. : 検出限界値未満 (20 ベクレル/kg)

## (g) 外部精度管理

(一財) 食品薬品安全センターが実施する外部精度管理調査に参加し、食品添加物(シロップ中のソ



ルビン酸の定量) , 残留動物用医薬品(鶏肉(むね)ペースト中のスルファジミジンの定量) および残留農薬(にんじんペースト中のアトラジン, クロルピリホス, ダイアジノン, フェントエート, フルトラニル及びマラチオンの6種農薬中3種農薬の定性と定量)の試験について精度管理を実施したところ, 結果はすべて良好であった。

b) 家庭用品検査

乳幼児用衣類10検体(16部位)について, 遊離残留ホルムアルデヒドの検査を行った(表2-10)。その結果, すべての検体が家庭用品の基準に適合していた。

表2-10. 家庭用品等検査

項目名	品名	検体数	検体部位	結果
ホルムアルデヒド	下着	1	2	適合
	スタイ	1	2	適合
	寝衣	1	1	適合
	靴下	1	1	適合
	おむつカバー	1	2	適合
	プレオール	1	1	適合
	ベスト	1	2	適合
	ミトン	1	3	適合
	帽子	2	2	適合
	計	10	16	

c) 飲用水試験(一般細菌数と大腸菌を除く。)

災害時における井戸水活用のための基礎資料を得るため, 井戸水24検体について飲用水試験(亜硝酸態窒素, 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素, 塩化物イオン, 全有機炭素, pH, 味, 臭気, 色度, 濁度)を行った。

その結果, 13検体が水道法に基づく水質基準に不適合であった。

d) 医薬品等検査

医薬品等一斉監視指導に伴う検査として, 医薬部外品1検体について, ナトリウム塩(確認試験), 硫酸塩(確認試験), 炭酸塩及び炭酸水素塩(確認試験), pH並びに硫酸ナトリウム(定量試験)の検査を, 医薬部外品1検体について, 炭酸水素ナトリウム(確認試験)及び硫酸ナトリウム(確認試験, 定量試験)の検査を行った。

その結果, いずれの検体も規格基準に適合していた。

(2) 受託研究(表2-11)

a) 生薬および生薬を原料とした製剤の放射線量の検討

生薬および生薬を原料とした製剤の品質管理向上をめざす目的で, 国内産生薬およびその生薬を原料とした製剤29検体について, 放射性ヨウ素(I 131)と放射性セシウム(Cs 134, Cs 137)延べ87項目の測定を行った。

b) ジャバラの残留農薬調査

ジャバラの安全性向上をめざす目的で、収穫前2検体と収穫時17検体、計19検体について、残留農薬200成分延べ3,800項目の分析を行った。

表2-11. 受託研究

検体	内容	検体数	延検査数
生薬・生薬を原料とした製剤	放射性ヨウ素 (I131)	29	87
	放射性セシウム (Cs134, Cs137)		
ジャバラ	残留農薬	19	3,800
	計	48	3,887